

会議録

名称	令和3年度第2回坂戸市総合計画審議会
開催日時	令和3年11月18日（木） 13時30分 開会 15時30分 閉会
開催場所	本庁舎 2階 201会議室
出席者の氏名	庭田文近委員、井元りえ委員、池田一夫委員、佐藤和恵委員、 富澤昌樹委員、房野洋委員、及川青児委員、戸口秀雄委員、関 根正昌委員、福沢猛委員、長洲義光委員、加賀谷幸昭委員、村 田千鶴委員、
欠席者の氏名	丸山元孝委員、高橋光行委員
事務局職員の 職・氏名	総合政策部 部長 楠本 圭司 次長 石坂 知巳 政策企画課 課長 鈴木 貴之 係長 田村 和也 係長 岡崎 絵里子 計画策定支援事業者 有限責任監査法人トーマツ シニアスタッフ 塚越 敬介
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 報告事項 4 審議事項 5 その他 6 閉会
配布資料	次第 【資料1】 職員ワークショップ実施結果報告書 【資料2】 高校生ワークショップ実施結果報告書 【資料3】 地区別懇談会実施結果報告書 【資料3-2】 地区別懇談会意見 【資料4】 第2回坂戸市総合計画審議会資料 【資料5】 基本構想の記載イメージ 【資料6】 今後のスケジュールについて

議事の経過	
発言者	発言
事務局	<p>1 開会</p> <p>只今から、第2回坂戸市総合計画審議会を開会する。現在の出席者13名、欠席者2名となっている。坂戸市総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、定足数に達しているので、本会議は成立したことを御報告する。また、本審議会の会議は公開であることを、予め御了承いただきたい。</p> <p>はじめに、庭田会長から御挨拶を申し上げる。</p>
会長	<p>2 挨拶</p> <p>委員の皆様には何かとお忙しい中、御出席を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>本日は次期坂戸市総合計画に関わる基本構想案を御審議いただき。委員の皆様におかれましては、それぞれの関係団体の立場や市民という視点で議論いただけますよう、お願い申し上げます。</p> <p>また会議が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から短時間で行われますよう、円滑な議事進行に格別なる御協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局	<p>それでは次第に基づき審議事項に入る。進行は庭田会長にお願いします。</p> <p>(傍聴者のいないことを確認)</p>
会長	<p>はじめに、本日の会議の趣旨について、事務局から説明いただきたい。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>

議事の経過	
発言者	発言
	3 報告事項 (1) 各種ワークショップ及び地区別懇談会の実施結果について
会長	次第の3 報告事項 (1)「各種ワークショップ及び地区別懇談会の実施結果について」、事務局から説明いただきたい。
事務局	(事務局説明)
会長	事務局からワークショップ及び地区別懇談会の実施結果についての報告があったが、確認したい点、質問等がありましたらお願いしたい。
委員	資料1職員ワークショップの人選について、職場の代表なのか、自ら手を挙げたのか確認したい。そして主事級というのは、どの年齢層なのか。
事務局	職員のワークショップは若手職員から意見を聞くことを目的に、各部へ推薦依頼をしたが、自ら手を挙げて参加した職員が多かった。主事級は、新卒2年目から5年目くらいまでの若手職員になり、年齢層では30歳前くらいの職員となる。
委員	坂戸市に在住している経験が少ないと、行政側の視点からの意見に偏ってしまうのではないかと感じた。その結果、都市基盤など、行政側の視点に関する集約・分析の結果が出てきたのではないかと感じた。また、高校生ワークショップでも坂戸市に在学ではあるが在住でない参加者がいる。所感を述べただけであるため、良い悪いというわけではない。
事務局	市内在住者だけでなく市外から通学している生徒も対象とすることで、自分の居住地と坂戸市を比較して、坂戸市に足りない部分や、自分の居住地の魅力に関する意見を合わせて、より坂戸市を魅力的にする方策を検討することを狙いとして、市内にある4つの高等学校の在校生に、居住地は問わ

議事の経過	
発言者	発言
	ず参加していただいた。
委員	「現在住んでいるまちに住み続けたいと思いますか」という設問は坂戸市についてのものだけではないことは承知した。三芳町とか嵐山町とか現在住んでいるまちに住み続けたいということによいか。
事務局	その点は、今自分が住んでいるまちに住み続けたいかということになる。それらの意見でプラスのものがあれば、坂戸市でも取り入れられればいいのではないかというような分析を考えている。
委員	もう一点、高校生ワークショップの中で住み続けたい、住んでみたいまちとして「観光で盛り上がっているまち」が8件出ているが、これは具体的にどういうことを観光の材料にするかということについて意見はなかったか。
事務局	踏み込んだところまでは意見が出ていない。「インバウンド」などについての言及も特にない。
	4 審議事項 (1) 次期坂戸市総合計画基本構想（案）について
会長	次第の4 審議事項 (1)「次期坂戸市総合計画基本構想（案）について」を議題とする。事務局から説明いただきたい。
事務局	(事務局説明)
会長	【資料4】第2回坂戸市総合計画審議会資料の基本理念、将来都市像、まちづくりの基本方向、土地利用構想に関して、御意見をいただきたい。
委員	将来都市像案の③『「ちょうどよい」のその先へ さかど』の、「ちょうどよい」について、恐らく初めて見る方に対しては視

議事の経過	
発言者	発言
	<p>覚で訴える形だと思うが、「ちょうどよい」というのが漠然としているため、例えば「住み続けたいまち 坂戸」というようなフレーズにしたほうが分かりやすいのではないか。</p>
会長	<p>「住み続けたい」だと②と同じにならないか。</p>
委員	<p>そうですが、この「ちょうどよい」という言葉が漠然としており、中身を感じ取ることができないのではないか。「ちょうどよい」って何なのかと感じてしまう。</p>
会長	<p>「ちょうどよい」という表現が漠然としているため、逆にイメージが湧きづらいということでしょうか。</p>
委員	<p>そうである。</p>
委員	<p>今の御意見に賛同する。③の「ちょうどよい」は分かりにくいと思う。「ずっとここにいたい」というよりも「住み続けたいまち さかど」となったほうがすっきりするような気がする。①は長すぎるため、分かりにくいかと思う。</p>
委員	<p>将来都市像案に対する意見ではないが、将来都市像案②の補足説明に、「坂戸で生まれ育った人や、坂戸に関わった人たちに坂戸に居続けてほしいと思ってもらえるまちになること」とあるが、「坂戸に居続けたい」という意味の間違いではないか。</p>
事務局	<p>間違いのため、修正します。</p>
会長	<p>将来都市像のキャッチフレーズの下に補足説明が入る感じになるかと思うが、補足説明はちゃんと主体をはっきりとさせて分かりやすくした方がいいかと思う。</p>
委員	<p>肯定的な意見になるが、今回、職員や高校生がグループワークで考えを掘り下げて、心が入った未来へとつながる意見が</p>

議事の経過	
発言者	発言
事務局	<p>反映された内容だと思う。災害対策、利便性、交通安全ということが反映されて、良い内容になっていると思う。</p> <p>12ページの土地利用の基本方向の ①暮らしのエリアに関して、「空間的なゆとりの確保に努め、誰もが生き生きと暮らすことができる居住空間を形成します。」と書かれているが、具体的にどういうことを市としてやっていくのかが見えないため、考えがあればお聞かせいただきたい。</p> <p>この部分は土地利用の基本方向のため、例えば緑地を何%確保するとか、狭隘道路をなくす、という具体的な表現は、個別の計画に記載する。</p>
委員	承知した。
委員	<p>将来都市像案が3つ並んでいるが、「ずっとここにいたい さかど」が、先ほど他の委員からも指摘されていたように、ちょっと漠然としているため「誰もが住み続けたいまち さかど」というようなわかりやすいキャッチフレーズのほうが良いのではないかと思う。まさに市長が先般の会議の中でも、長く住んで住み続けられるという表現をされており、まさにそのとおりだと思う。また、坂戸市定住促進施策基本方針が出されていると思うが、その方針とこちらの基本構想の関係はどのように考えれば良いか。</p>
事務局	<p>坂戸市定住促進施策基本方針は平成27年3月に人口減少の動向等も踏まえ策定したものになる。同様に、こちらの定住促進の施策についても、今後新しい総合計画ができあがったタイミングで、その時々施策を取り入れたものに更新していく必要があると考えている。現在の坂戸市定住促進施策基本方針を意識して今回の基本構想を作っているという直接の結びつきはない。</p>
委員	承知した。今回、高校生、職員、地区別懇談会で出た様々な意見の中に、坂戸市を引き続き発展させていきたいという思

議事の経過	
発言者	発言
委員	<p>いと、そこに住む方を増やしていきたいという思いがあった。住むためには夢がなければならないし、企業などの働く場がなくてはならないと思う。大学や高校に関しては非常に良い環境にあるが、卒業したら坂戸市を離れてしまうのではなく、坂戸市に居住してもらおうという観点では、自然環境も大事だが働く場というのは切り離せないと思う。総合計画と整合を図っていくということで理解ができた。</p> <p>基本理念が3つ、まちづくりの基本方向が5つあるが、例えば「参加と協働によるまちづくり」が基本理念の1番目に入っているのに、まちづくりの基本方向の1番は「安心して子育てでき、みんなが活躍できるまち」という順番になっているのは、どのような理由か。</p>
事務局	<p>基本理念とまちづくりの基本方向は、連動して紐づいているというよりは、基本理念はまちづくりをするにあたって全てのことを行う上で意識しておかなければいけない横断的なものとして掲載している。まちづくりの理念から紐づいて基本方向が整理されているわけではない。順番も特に意識したものではない。</p>
委員	<p>承知した。</p>
事務局	<p>資料5 基本構想の記載イメージでもⅠ、Ⅱ、Ⅲという形で基本理念を整理しており、順番付けされているようなイメージになってしまうため、当該箇所の記載にあたっては、全ての理念が横並びのものであるということが分かるように、表現を考えていきたいと思う。</p>
委員	<p>先ほども意見が出たが、将来都市像案の②「ずっとここにいたい さかど」の「ずっと」というところが、あまりしっくりこないと感じている。あとは③「ちょうどよい」という表現もやはり分かりにくいいため、表現を変えたほうが良いと思う。「その先へ」についても同様である。</p>

議事の経過	
発言者	発言
事務局	<p>あともう1点、土地利用構想の基本理念③「自然災害から生命や財産をまもる安全・安心な都市づくり」の説明の中で、「しなやかな都市を目指す」とあるが、「しなやかな都市」は非常に抽象的で分かりにくい表現だと思う。これではどういう都市を目指すのか分かりにくいので、説明をお願いできればありがたい。</p> <p>国で定めて推進している国土強靱化計画があり、その表現を流用している。よく市長が「災害に強く」と申しているが、実際に本市では2年前の災害において、ごみ処理を含めて復旧・復興は早かったと自負している。災害があっても復旧・復興が速やかにできる、人々の生活が迅速に普通の暮らしに戻るといようなまちづくり、都市づくりを進めていきたいというような思いを含んでいるため、表現を検討したいと思う。</p>
委員	<p>まちづくりの基本方向の「5. 市民と共につくる、みんなが誇れるまち」が引っかかっている。総合計画の後期基本計画を策定した際には「協働による質の高いまちづくりの推進」としていたものが「誇れる」というフレーズに代わっている。この「誇れる」というフレーズについて、行政経営・市民参加・協働・文化は、決してそれが突出しているから誇れるまちにはならないのではないか。誇れるという言葉を使うことには違和感がある。他の市町村を参考にしたのか。</p>
事務局	<p>こちらのキーワードについてはワークショップなどを通して、坂戸を自慢できるまちにしたいというような意見が多く寄せられたので、そこを加味した上で「誇れるまち」という表現を使用した。</p>
委員	<p>観光と言っているが観光資源があるのか、誇れる坂戸市なのですかと問い詰められたときに厳しくなるのではないか。ここはどうもまちづくりの基本のような気がする。</p>
会長	<p>誇れるまち、というのは方向性としては全然間違っていない</p>

議事の経過	
発言者	発言
委員	<p>い、むしろ誇れるまちを目指さないと意味がないと思う。</p> <p>しかし今まで10年間かけて、質の高いまちづくりの推進を進めてきた坂戸市のはずが、それをまたより戻すというのはいかがか。</p>
会長	<p>今回の計画では、次の10年の話をしようとしているため、誇れるまちを目指しましょうとしていると、私は理解している。</p>
委員	<p>将来都市像案③について、少数意見であるため勇気がいるが、「ちょうどよい」という表現は良いと思う。</p>
会長	<p>私も同じ意見である。</p>
委員	<p>いただいた資料の職員ワークショップ、高校生ワークショップ等の結果を読んでいくと、例えば交通の便が「ちょうどよい」し、都会と田舎の両方の面があるということも「ちょうどよい」し、住みやすさも「ちょうどよい」とか、ワークショップの結果には本当に中庸みたいなところというのが多く出ていた。その結果を受けて考えると、『「ちょうどよい」のその先へ さかど』というのは、まず「ちょうどよい」というところで能動的・肯定的な意味合いとして受け止めたい。さらにその先に行くのだという向上心も見受けられるため、私はこの③はいいのではないかと勇気を持って申し上げた。</p>
会長	<p>ありがとうございます。私もこの将来都市像に関しては①は違うと思ったが、②と③は結構好きである。「ちょうどよい」とか「ずっとここにいたい」とか、ぼんやりしているというお話が結構あったが、むしろこのようなキャッチフレーズはぼんやりしているほうが色々な人に共感を持たれるため、良いのかなと思う。</p>
委員	<p>埼玉県での研修の際に、坂戸市がどこにあるのかを説明するに当たり、よさこいの鳴子の絵を描いただけで、周囲から坂</p>

議事の経過	
発言者	発言
	<p>戸だと理解してもらえた時にまちへの誇りを感じた。各地でのお祭りや高麗川沿いの桜堤など、良いところがたくさんあるにもかかわらず、それが皆さんに広がらないということがすごく残念だと思っている。ただ単に「川があるまち」という理解ではなくて、「高麗川という清流があり、そこに沿ってまちができた、そういうまちである」というイメージ作りが出来れば、一度行ってみたいとか、そこに住んでみたい、という言葉が出てくると思う。</p> <p>坂戸市は入西地区など地域によって都市化していて、商店も医療関係もドラッグストアもたくさんあるので、そういったミニ都市が至るところにできてくれば、皆さんが住んでいて便利だなどと思っていただけまちになると思う。</p> <p>また、最近高齢者の交通事故が多いが、免許返納しても坂戸市は安心して住めるという環境を整備することも大事だと思う。巡回バスを増やしてもらえば高齢者が免許を返納しても医療関係の病院に行けるし、市役所もすぐ行けると思う。</p> <p>総合計画はそういう内容で、シンプルに仕上げることであれば誰もが冊子を手にとって見たいと思う。資料の記載イメージを見ると字も大きくて見やすいし簡潔で、こういうものを市民に見てもらおうことで、坂戸市の良さを再認識していただくことが大事だと思う。</p>
会長	<p>公共交通に関する要望は、高校生ワークショップでも多く、地区別懇談会の結果を見ても多いので、充実すればずっとここに住み続けたいと思うのではないか。お話いただいたように、誇りみたいなものは、内発的なものだけではなくて、外的な要因も大きいと思う。市外の人から見て羨ましく感じてもらえれば、誇り・郷土愛・シビックプライドのようなものが醸成されるかもしれないと思う。</p>
委員	<p>先ほども議論があった将来都市像案③に関してだが、補足説明のところで「良く言えば普通でちょうどよいですが、悪く言えば」という形で対比するのは良いと思うが、「魅力がないため」と断言してしまっているのはいかがなものか。例えば</p>

議事の経過	
発言者	発言
会長	「魅力が十分でないため」のように、表現を柔らかくしてもいいような気がする。
委員	<p>確かにそうである。</p> <p>同じく将来都市像案に関してだが、それぞれの案については、感性とか世代間で捉え方がいろいろ違うとは思う。ただ、「キャッチフレーズ」という記載であればこのままでも良いと思いますが、将来都市像という記載だともう少し硬めの言葉をイメージするので、計画紙面に掲載した際の違和感が生じてしまうのではないかと。</p> <p>確かにキャッチフレーズだと③は今の若い人が使いそうですし、響きそうな感じがするが、将来都市像という記載の下にこれが来たときにちょっと違和感があるかもしれない。どのように見せるかによって感じ方が違ってしまふのかなと思う。</p>
会長	<p>そういった意味では私は、「住み続けたい」が反映されているので、②を推している。現行計画の将来都市像ではどうなっているか。</p>
事務局	<p>現行は「笑顔でつなぐ躍動のまち、さかど」である。</p>
会長	<p>現行計画と比べれば②とか③は良いと思う。将来の坂戸市がこうあってほしいというところを端的に伝える表現である。そうするとやっぱり具体性があったほうが良いか。</p>
委員	<p>個人的には②が良いと思う。たださっきの御意見のとおり「いたい」よりは「住み続けたい」の方が分かりやすいと思う。</p>
委員	<p>まちづくりの基本方向に関して、4の文章が「活気あふれるまちで生き生きと暮らすため、自然と暮らす居心地の良さと都市の利便性を兼ね備えた」というように冗長でどこで切ったらよいのかわからないため、もっと端的に記述しても良い</p>

議事の経過	
発言者	発言
	<p>のではないかなと思う。</p> <p>坂戸市総合計画構成案のところで、SDGsという言葉がある。基本構想にも間接的には「持続可能」という意味合いのある表現がたくさんあるものの、直接的な表現は少なく感じている。例えば土地利用構想の基本理念で初めて「持続可能な」と出てきたくらいだが、「持続可能な」という表現は各所で必要な表現かなと思っている。</p>
会長	<p>SDGsに関しては、一つ一つのところで触れざるを得ない感じであるか。</p>
事務局	<p>基本構想で一つ一つのところで触れていくというより、この後で作成する基本計画の中で、この施策はSDGsのどの項目に当てはまるかということをはっきりと明らかにすることで、SDGsとの関連性を明確にしていきたいと思っている。</p>
会長	<p>先ほど、まちづくりの基本方向の4の表現はもっと端的なほうが分かりやすいという御意見については、検討いただいたほうがよろしいかと思う。</p>
事務局	<p>検討していきたい。</p>
委員	<p>基本理念とまちづくりの基本方向の関係についてだが、先ほど委員から御質問があったが、基本理念は大きく3つあって、それが5つの基本方向に全部関わっているということなので、5つの基本方向全てをやるために市民参加と協働も必要、暮らしをまもるところも必要、自然環境と生活環境の調和も必要と捉えられると思う。その際に基本理念では、まちづくりの基本方向の5つに入っている言葉を使わずに、バランスを取ることはいかないか。基本理念の「1 参加と協働によるまちづくり」はこのままで良いと思いますが、例えば基本理念の2を「暮らしをまもり持続可能なまちづくり」というような記述にして、基本方向と重複する「互いの個性を認め合う」というのは入れないとか、3で「自然環境と生活環境が調和したまち</p>

議事の経過	
発言者	発言
会長	づくり」というような記述にして、基本方向には「調和」という言葉を入れないとか、うまく整理することはできないものか。
会長	基本理念とまちづくりの基本方向が補完し合う形にするということですね。
委員	基本理念は全てのことに必要であるということを言いたいわけである。この3つの基本理念で5つの基本方向をやっていきますということを示すことができれば良いと思う。「持続可能」については、暮らしを持続可能にしていくということなので、2に入れてもいいかなと思った。
会長	3に入れるのが良いかなと感じた。
委員	その辺は御検討いただけたらと思う。
会長	基本理念にSDGsを入れるのも一案である。
委員	持続可能という言葉を入れておくと良いような気がする。私たちの暮らしが将来にわたって次の世代へ続いていくようなイメージが持てるかなと思う。御検討いただければありがたい。
会長	基本理念の中でSDGsを明示化しようというような考えはあるか。
事務局	SDGsの取組に向くような基本理念にするということであるか。
会長	端的には「持続可能な」という言葉を用いることかと思う。
事務局	基本理念を作成する段階では、ここにSDGsの文言を入れるという意識はなかった。

議事の経過	
発言者	発言
委員	基本理念の2を例えば「持続可能な暮らしを想像するまちづくり」などのような形にするのはいかがか。
事務局	検討していきたい。
会長	「長所を活かした持続可能なまちづくり」はいかがか。
事務局	場合によっては説明のところで入れる可能性もあると考えている。あまり基本理念が長い文章になってしまうのも良くないと思っている。先ほど御意見いただいたように、まちづくりの基本方向との違いが分かりにくくなってしまう恐れもあるので、この点については検討をしていく。
委員	今の、「持続可能」の4文字だけでも、随分雰囲気すごく変わったと思う。
会長	SDGsはいつまでの目標か。
委員	2030年12月31日までである。
会長	今回の総合計画は2023（令和5）年度から2032（令和14）年度までの10年間で計画期間であるため、御検討いただけたらと思う。
委員	まちづくりの基本方向に関して、まちづくりの基本方向の4について私も少々考えがある。高校生と職員のワークショップの結果を見るに、恐らくワークショップを始めるときの課題として「ずっと住み続けてもらうためにどうすればいいか」という投げかけがあったと思う。そのときの意見の中に、食事や買い物、その他もろもろ遊技場とかが充実したまちが良いとか、お店が多いまちとか、施設（スポーツ、公園、図書館）が多い・充実しているまち、などというものが上位にあったと思うが、基本方向の中で該当する文言があるか確認すると、かろうじて4の「活気あふれる暮らしやすいまち」の“暮らしや

議事の経過	
発言者	発言
	<p>すいまち”というところが当てはまるのかなと思った。</p> <p>交通の便も自然と都会も重要だが、暮らしやすさという点で、若い人たちが選ぶのではないかと考えた際に、アンケートの結果も踏まえて、前面に押し出していく必要があるのではないかと思う。この【都市、環境、産業】の4を1番上に持ってきてても良いのではないかとも思った。</p>
会長	<p>まちづくりの基本方向の順番は優先度順になっているのか。</p>
事務局	<p>優先順位はない。</p>
会長	<p>アンケート結果などに利便性といった言葉が結構あったため、そうした言葉が入っても良い。</p>
委員	<p>そう思う。アンケートやワークショップ等により、せっかくみんなが意見を寄せているのに、基本構想に反映されず、意見が死んでしまっているという印象を受けた。意見を反映させて前面に押し出したほうが若い人たちは、居続けてくれるまちになるかと思う。</p>
会長	<p>そのようなワークショップでの意見の反映について明確化するようなことは御検討いただけるか。</p>
事務局	<p>検討していきたい。</p>
会長	<p>交通や買い物の利便性、高校生ワークショップにあった遊びに関しても少し反映されても良いかとは思っているので、明示できるようにしていただけると良いかもしれない。</p>

議事の経過	
発言者	発言
会長	5 その他 (1) 今後のスケジュールについて
事務局	次第の5「その他」につきまして事務局から説明いただきたい。 (事務局説明)
	6 閉会
	以上